

12V・24V 対応

RXC07-99C 大容量パワーブースター X 取扱説明書

この度は、RXC07-99C 大容量パワーブースター Xをお買い上げいただきありがとうございます。
必ずこの「取扱説明書」をよく読み理解した上で、本製品を安全にご使用ください。
また、いつでも読むことができるように大切に保管してください。

■ 仕様



バッテリー容量	42000mAh リチウムイオン電池
寸法	248×248×96mm
重量	2.3kg
ジャンプスタート 出力	12V/24V
アクセサリソケット 出力	12V10A
USB(A)出力	5V1A/5V2.1A
USB(C)入力	5V2A/9V2A/12V1.5A (Quick Charge 2.0)
満充電時間	約10時間
スタート電流	12V/1000A 24V/1000A
ピーク電流	12V/2000A 24V/2000A
使用温度範囲	-20～60℃
セット内容	本体、充電コード、 充電用アダプター

*注) 予告なくセット内容、仕様、デザイン等が変更になる場合があります。ご了承ください。



製品について

本製品は、12V および 24V 車両専用のエンジン始動補助装置です。一時的にバッテリーが上がった車両に対しエンジンの始動に必要な電力を供給する装置です。極端に電圧の低下した車両バッテリー（放置車両・何度もバッテリーが上がった車両・故障したバッテリー等）に使用した場合、電力の不足によりエンジンが始動できないことがあります。



警告

下記内容をお守りください。
重大な事故や死亡または重傷を負う可能性があります。

- ・ 本製品は、バッテリー上がりの車両に対し一時的にエンジン始動を補助する携帯電源です。また、DC12V アクセサリー製品、USB 機器の携帯電源として使用する装置です。目的以外の使用や過度に電力を消費する製品の使用は絶対にしないでください。
- ・ 水気のある場所、または体や衣服が濡れた状態で本製品を使用しないでください。感電の恐れがあります。
- ・ 火気・可燃物・爆発物の近くで本製品を使用しないでください。また、火中に投入しないでください。引火・爆発等の恐れがあります。
- ・ 作業は 2 人以上で行い、エンジン始動時に本製品から離れないでください。本製品がエンジンルーム内に落下したり、ファンベルト等にケーブルが巻き込まれないように注意をしてください。
- ・ 使用時は、安全手袋・作業着等の安全防具を着用し、感電・やけど・エンジン回転物に巻き込まれ等に十分注意をしてください。
- ・ 貴金属（ネックレス・腕輪・指輪等）を身に着けた状態で本製品を使用しないでください。感電等の恐れがあります。
- ・ 直射日光下や炎天下の車中等、高温多湿の場所で放置・保管・充電をしないでください。
- ・ 本製品を充電する場所は、風通しが良く火気・可燃物のない屋内で行ってください。
- ・ 本製品を充電する時は、付属の充電器およびメーカーが推奨する充電器以外を使用しないでください。
- ・ 使用前、または使用中に本体に異常がある場合は、直ちに使用を中断しお買い上げの販売店に点検依頼をしてください。異常のまま使用すると火災・感電および製品や対象車両の故障原因になります。
- ・ 内蔵バッテリーや車両バッテリーから漏れた液体が目や体の一部に付着した場合は、直ちに清潔な水で洗い流し、医師の診断を受けてください。
- ・ LED 照明部は直視しないでください。失明の恐れがあります。
- ・ クリップのプラスとマイナスを故意に接触させたり、金属を介して短絡させないでください。火災・感電の恐れや製品の故障原因になります。
- ・ 本体の端子に金属物等の異物を入れないでください。火災・感電の恐れや製品の故障原因になります。
- ・ 本製品を道路上で使用する場合は、道路交通法等の法令・条例に従い、周囲の安全を確認してから行ってください。
- ・ 本製品または内蔵バッテリーを廃棄する時は、各自治体の条例に従ってください。
- ・ 本製品を改造・分解しないでください。
- ・ 子供の手の届く場所に保管しないでください。



注意

下記内容をお守りください。
負傷や物的損害の可能性があります。

- ・ 本製品は、12V 車および 24V 車用です。その他の電圧の車両には使用しないでください。
- ・ 本製品は防水仕様ではありません。雨中や水気のある場所で使用しないでください。
- ・ ジャンプケーブル、コード類を引張ったり、過度な力で抜き差ししないでください。
- ・ 本製品を充電しながらジャンプスタートしないでください。
- ・ 本製品を使用前に必ず自主点検を行ってください。異常がある場合は絶対に使用しないでください。また、本製品を落下や過度の衝撃等で損傷した可能性のある場合は絶対に使用しないでください。お買い上げの販売店に点検依頼をしてください。
- ・ 本書の内容を正しく理解した上で使用してください。無理な使用は感電・やけどの危険、また車両および本製品の故障や内蔵バッテリーの性能を著しく低下させます。



充電時の注意

- 初めて使用する前に、必ず満充電にしてください。
- 使用前、使用後に充電量を確認し、充電量が少ない場合は満充電にしてください。
- 使用していても 3 か月毎に満充電にしてください。
- 本製品の寿命は約 3 ～ 5 年です。(充放電サイクル：約 1000 回)
- 本体・充電アダプター・コードに損傷がある場合は使用しないでください。



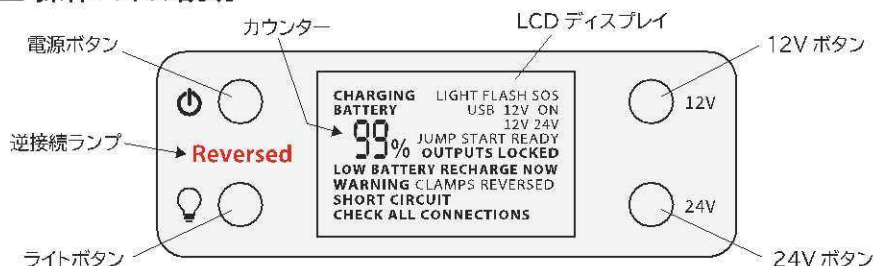
作業時の注意

- 3 秒以上セルモーターを回さないでください。
- 連続して使用する場合は、2 分以上の冷却時間を空けてください。
- エンジン始動後、30 秒以内に車両から取り外してください。
- 車両バッテリーとの接続は、正しく確実に行ってください。極性を正しく接続してください。
- クリップやジャンプケーブルに亀裂や損傷がある場合は使用しないでください。
- 車両の電圧を必ず確認してください。異なる電圧の車両に対し使用しないでください。車両が故障する可能性があります。
- 本製品を使用する前に、車両バッテリーの状態を点検してください。車両バッテリーが交換対象の場合は本製品を使用せず、車両バッテリーを交換してください。
- 極端に電圧の低下した車両バッテリーでは、本製品を使用してもエンジンが始動できないことがあります。その場合は何度も使用せず、車両バッテリーを交換またはバッテリー充電器等で充電してください。
- 車両バッテリーを外した状態、または車両バッテリー端子を切り離れた状態で本製品を使用しエンジンを始動しないでください。
- エンジンの始動を確認したらすぐにクリップを外し、接続を解除してください。
- クリップ金属部や車両バッテリー端子が汚れている場合は清掃してから接続してください。接触不良または接触抵抗大によりエンジンが始動しないことがあります。また、クリップ接続部が発熱したり火花が発生し、クリップカバーが溶けて損傷する可能性があります。
- 本製品には異常を検出し、自動で機能を停止する機能があります。制御に従ってください。無理に使用すると、車両および製品の故障や内蔵バッテリーの性能を著しく低下させます。
- 使用していない時、クリップはケーブルホルダー・クリップホルダーに収納してください。
- アクセサリ出力ソケットは、使用していない時はキャップをしてください。
- 本製品は、全ての車両またはエンジンに対し、始動を保証するものではありません。また、携帯電源での使用において、全ての機器の適合を保証するものではありません。本製品の使用は、使用者の責任で実施してください。
- 車両への接続が困難な場合、無理な接続や使用は絶対にしないでください。
- 車両への接続および接続箇所は、車両説明書・サービスマニュアルを参考にし、指示に従ってください。不明な場合は、本製品を使用しないでください。

■ 各部名称



■ 操作パネル説明



《 ボタンについて 》

- 液晶不灯時にいずれかボタンを押すと、LCD ディスプレイが全表示（動作チェック）した後に待機状態になります。
- 待機状態時に何も操作せず約 30 秒後に自動でディスプレイが消灯します（電源オフ状態）。待機状態時に電源ボタンを約 5 秒 長押しすると LCD ディスプレイが消灯します。
- ライトボタンを押すと、背面 LED ライトが点灯します。押す度に点灯パターンが変わります。（点灯→フラッシュ→SOS 点滅→消灯 の順）
- 12V ボタンもしくは 24V ボタンを約 3 秒長押しすると、クリップに押したボタンの電圧を強制的に出力します。（強制出力モード 詳細は 6 頁 使用方法参照）

《 ディスプレイ表示について 》

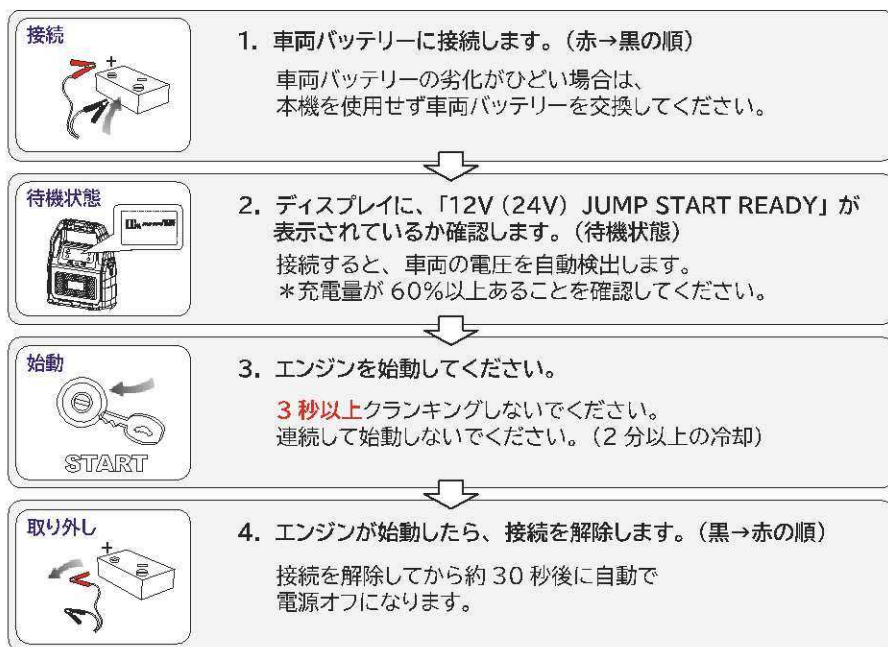
- いずれかのボタンを押すと、LCD ディスプレイが全表示（動作チェック）した後に待機状態になります。この時、「BATTERY」、「USB 12V ON」の表示とカウンターに充電量（%）を表示します。
- 本体に充電器を接続時、「CHARGING」が表示されて充電を開始します。この時、カウンターに充電量（%）を表示（点滅）します。
- 「LOW BATTERY RECHARGE NOW」と表示された場合は、バッテリー充電量が低下しています。充電してください。
- ライトの点灯パターンに応じて、点灯「LIGHT」→点滅「FLASH」→SOS 点滅「SOS」→消灯 の順で表示されます。
- 待機状態時、USB 出力ポート（5V1A/5V2.1A）およびアクセサリ出力ソケット（12V10A）に電源を出力します。ポートおよびソケットに機器を接続して電気を消費している時、「USB 12V ON」が表示され、継続的に出力します。機器の接続がない場合もしくは電力消費のない場合は、自動で出力を停止します。
- 電源出力回路がショートした場合、「OUTPUTS LOCKED」、「WARNING SHORT CIRCUIT CHECK ALL CONNECTIONS」が表示され、自動で電源が 約 30 秒間 遮断されます。この時、カウンターに遮断時間がカウントダウン表示されます。遮断中に接続を解除し、ショートの原因を取り除いてください。
- 車両バッテリーに接続して待機状態の時、「12V (24V) JUMP START READY」が表示されます。または 12V ボタンもしくは 24V ボタンを長押しすると、押した電圧がクリップに出力されます。この時、「12V (24V) JUMP START READY」が表示されます。
- バッテリーに極端な負荷がかかった時（連続始動、長いクランキング等）、「12V・24V」が交互点滅し「OUTPUTS LOCKED」、「WARNING」が表示され、自動で電源が 約 10 分間遮断されます。この時、カウンターに遮断時間がカウントダウン表示されます。カウントダウン終了まで使用しないでください。
- バッテリーに対してプラスとマイナスを逆に接続した場合、逆接続ランプ「Reversed」が点灯し、ブザーが鳴ります（この時、ディスプレイは消灯します）。接続を解除し、正しく接続し直してください。

《 安全機能について 》

- 電源オフ状態時および待機状態時は、クリップ間に電源出力はありません。（ショート防止）
- 強制出力モードでショートした場合、自動で電源を遮断します。（回路保護）
- プラスとマイナスを逆に接続した場合、警告灯とアラートが鳴ります。（逆接続防止）
- 車両バッテリーに接続すると、電圧（12V もしくは 24V）を自動で選択します（誤電圧防止）
- バッテリー高負荷時に自動停止し、約 10 分間冷却制御します。（内蔵バッテリー保護）

■ 使用方法

《 エンジン始動 》



上記手順でエンジンが始動できない場合 (待機状態にならない場合)

1. 車両バッテリーとクリップが正しく接続されているか確認してください。
2. 車両バッテリーに機能低下があり (電圧がないもしくは極端に低い等)、本機が電圧を検出できず待機状態にならないことがあります。この時、ディスプレイに「JUMP START READY」は表示されません。
この場合、強制出力モードで任意の電圧を手動で供給することができます。

強制出力モード手順

接続した状態で待機状態にならない場合、12Vボタンもしくは24Vボタンを約3秒長押しすると、「12V (24V) JUMP START READY」が表示され、押したボタンの電圧を約30秒間出力します。この間にエンジンを始動してください。



誤った電圧 (12V 車両に 24V ボタンを押す等) を選択すると車両や本機が故障したり重大な事故の原因になります。必ず車両の電圧に合わせて選択してください。上記で始動しない場合は車両側の故障等が考えられます。状態を点検し、リスクがある場合は使用せず作業を中断してください。



使用上の注意

- ・ 内蔵バッテリーの機能低下を防ぐため、充電量が 60% 以下の場合は充電してください。
- ・ ショート防止のため、取り付け時はプラスクリップ（赤）から接続して、また取り外し時はマイナスクリップ（黒）から接続解除してください。
- ・ 車両バッテリーに接続すると、電圧を自動検出して待機状態になりますが、待機時はクリップから電源を出力しません。電圧変動（キーON、セルモーター作動等）を検出すると車両バッテリーに約 5 秒間電源を供給します。そのため、始動時の電力供給に若干のタイムラグが発生する場合があります。

《 本体の充電 》

1. 充電アダプターと充電コードを接続し、本体充電ポートに充電コードを接続します。
2. 充電アダプターを 100V 電源に接続します。
3. 本体ディスプレイに「CHARGING」が表示されて充電を開始します。
*この時、バッテリーの充電量がカウンターに % 表示されます。
4. 充電が完了するとディスプレイがすべて消灯します。充電アダプター類の接続を解除してください。

《 USB 機器およびアクセサリ機器の使用 》

1. USB 機器を、本体正面の USB 出力ポート（5V2.1A/5V1A）に接続します。
または、アクセサリ機器を、本体側面のアクセサリ出力ソケットに接続します。
2. 電源ボタンを押して、本体ディスプレイに「USB 12V ON」が表示されたら給電を開始します。
3. 機器を取り外して放置、もしくは機器の電力消費が少なくなる（充電が完了する等）と、自動で本体の電源がオフになります（電源供給オフ）。

《 LED ライトの使用 》

- ・ 本体操作パネルのライトボタンを押すと背面ライトが点灯します。押す度に点灯パターンが変わります。（点灯→フラッシュ→SOS 点滅→消灯 の順）

■ メンテナンス

- ・ 本体や付属品に汚れが付着した場合は、乾いた布等でふき取ってください。
とくに、クリップの金属部に汚れが付着した場合は接触不良の原因になるためこまめに清掃してください。
- ・ 直射日光下や高温高湿を避け、風通しの良い涼しい場所に保管してください。
- ・ 長期保管する場合は、定期的に再充電を行ってください。（3 か月毎）



株式会社レックス
〒501-0231岐阜県瑞穂市野白新田55-1

#2940324